

## 国際理解教育に関する取組について

### 教育委員会

#### 1 国際理解教育の推進

##### (1) 施策の概要

小・中学校においては、各教科等における国際理解教育に関する重点内容等を明確にし、他国の言語や歴史・文化などについて学習するとともに外国人との交流を通して、実践的なコミュニケーション能力の育成に取り組んでいる。

市教委は、市教育振興基本計画に示す国際理解教育を推進するために、市長マニフェストを踏まえるとともに各学校の活動がさらに推進されるよう、外国語活動や英語科の授業等において、英会話活動協力員（AEA）、外国語指導助手（ALT）を派遣したり、地域に住む外国人を招いた異文化体験活動の支援を行ったりするなどの施策に取り組んでいる。

##### (2) 具体的な取組事例

###### ア 実践的なコミュニケーション能力を高める取組例

###### ① 市立学校へのAEA、ALTの計画的な派遣

- AEAによる小学校外国語活動（AEA：83人）  
5、6年生：1クラスにつき年間53時間  
3、4年生：1クラスにつき年間26時間
- ALTとのチーム・ティーチング（ALT：21人）  
1学級あたりのALT活用時数（令和3年度実績）  
中 19.2時間 高 7.7時間



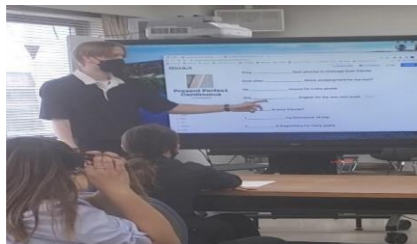
###### ② 中学生英語スキット・スピーチコンテストの開催

- 令和3年度参加校  
スキット（2年）：37校、スピーチ（3年）：38校
- 令和3年度参加者 112人

※ スキット…2人1組になって、場面を設定した上で、それぞれの役割を決めて、英語で表現し、発表する。



###### ③ ICTを活用した外国の人々との交流活動（令和3年度から年3回実施） 市教委と各中学校をオンラインで結び、ALTがオンラインレッスンを行う。



※ 生徒からは、「多くのALTと英語でやり取りをすることで、楽しく学習できた。」など、非常に好評である。

#### ④ 指導者のスキルアップを図る各種研修会の開催

- AEA対象の研修会を年3回実施し、児童との接し方や教職員との連携等について研修を行う。
- 外国語指導助手（ALT）対象の情報交換会を週1回実施し、効果的な指導法等についての研修を行っている。



【AEA研修会】



【ALT情報交換会】

#### イ 総合的な学習の時間における異文化を理解する取組例（武岡小学校）

- アcademia育成財団の支援を受けて取り組む「スクールドリームプロジェクト」の一つとして、JICA青年海外協力隊及び海外日本人学校派遣経験者12名を講師に、ワールドカフェスタイルで学習会を行った。
- 対象国は、12か国で、アジア方面、欧州方面、アメリカ大陸など多岐に渡り、児童は、異文化について理解することはもちろん、世界の中で、日本に求められている役割などを理解することができた。

#### ウ 英語A1アプリの活用

令和4年2月に市教委は株式会社ECCとの連携と協力に関する協定を締結し、トライアル校に指定した小・中学校に対して、ECCから提供された英語A1アプリの有効性について実践研究に取り組ませている。

## 2 その他の国際理解教育の取組

### (1) かがしま創志塾（少年自然の家）

中・高校生を対象に宿泊共同生活を含むカリキュラムの中で、国内外で活躍する講師陣との出会い、鹿児島島の歴史や文化、環境、国際理解等、実践的に学ぶプログラムを実施し、グローバルな視野で社会をリードする人材を育成する。

- 実施日：令和4年8月4日（木）～8月5日（金）
- 活動内容：ALTとの活動（自己紹介、英語ゲーム、ALTと英語で観光案内等）

### (2) Let's enjoy English（市立図書館）

市立図書館にある外国語絵本（約1,300冊）をALTに朗読してもらうことを通して、外国語や異文化について理解を深め、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成や、音声や基本的な表現に興味を持たせる。（年3回実施）

内容：英語絵本の読み聞かせやALTによる母国紹介 など

